

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議（第4回）				
開催日時	平成21年11月12日（木）午後7時00分～9時				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者及び欠席者	<p>出席者：</p> <p>（委員）神谷・桑原・小山・島崎・土田・當間・橋本・森・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係長 半井・生涯学習係主事 野崎</p> <p>（社会教育行政関係）公民館長 若林・ふるさと歴史館長 野口</p> <p>欠席者：なし</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1．あいさつ</p> <p>2．協議事項</p> <p>（1）東村山市社会教育行政について 公民館の現状と課題について ふるさと歴史館の現状と課題について</p> <p>3．その他</p> <p>（1）東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下都市社連協）事業について</p> <p>（2）報酬について</p> <p>（3）第6回会議日程について</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 半井・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111（内線3513）</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1．あいさつ</p> <p>議長</p> <p>文化祭や産業祭など、年度末が近づくと行事が多くなるが、風邪や新型インフルエンザが流行っているので注意をお願いしたい。</p> <p>前回会議から今回に至るまで、様々な会議等に出席したので、報告したい。</p> <p>都市社連協関東甲信越静研究大会がさいたまスーパーアリーナで行われ、講演等が催された。基調報告の中で、社会教育委員の役割として、教育委員会からの諮問が無くても研究や具申を行うべきであるという報告がなされた。</p>					

都市社連協第4ブロック研修会では、食育についての講演やラジオ体操の実演が行われた。

都市社連協以外の会議では、社会教育委員代表として放課後子ども教室運営委員会に出席した。現在、当市では大岱小の1校で実施しているが、他の学校へ実施を広げるのが今後の課題である。

神山課長

11月21日(土)に青少年健全育成大会が、同28日(土)に中学生クイズ大会が開催される。両者とも青少年健全育成事業として展開している行事なので、お時間のある方は出席をお願いしたい。

## 2. 協議事項

### (1) 東村山市社会教育行政について

#### 公民館の現状と課題について

公民館長 若林 和俊

#### 事務分掌について

- ・中央公民館に庶務係と事業係があり、それに地区館が加わる。
- ・平成21年度より地区館においては職員(地区館長)1名、嘱託職員1名の2名体制となる。
- ・東京都26市で唯一、地区館で地域サービス窓口業務を実施している。現在、地域窓口については、業務体制を含め、総務課にて別途協議扱いとしているが、担当課と管理者(責任者)を明確にすることが今後の課題である。担当者については市民課や納税課の経験者等を配置することが望ましい。

#### 今後の課題

- ・公民館施設の経年老朽化に伴う適切な維持管理と効率的な運用。
- ・利用率の向上に努めること。
- ・若年層の利用を促進すること。
- ・少ない人員での事業拡大への対応。

#### A委員

公民館施設使用が有料化された経緯は何か。また、全公民館の事業計画は中央公民館で立てているのか。

若林館長

公民館施設を使用する人と使用しない人で公平性を期するため有料化を実施した。事業計画は地区館のものも含めて中央公民館で立てている。

#### B委員

公民館運営審査会の開催回数が年6回から年4回に減らされた経緯は何か。

若林館長

本会の開催日数については予算の都合で回数を減らした。また、公民館における地域サービス、サークル活動がすっかり根づいているため、支障のない範囲で回数を減らした。

#### C委員

公民館主催の市民講座の開催場所とPR方法を教えていただきたい。参加者はどのくらいいるのか。また、地域サービス窓口業務は、税金出納を行うため、大きな責任を伴うが、管理職の決裁は当日得るのか。

若林館長

中央公民館と各地区館のローテーションで会場を設定している。PR方法としては、インターネットを使用できない市民のことも考慮し、市のホームページの他、自治会掲示板、ふれあいセンター、市内公共施設にポスターを掲示している。参加者数は会場によってばらつきがある。地域サービス窓口業務の決裁は当日得るようにしている。

D委員

市民講座ボランティアに任期はあるのか。1講座あたりの予算はどのくらいか。

若林館長

任期は2年である。選抜は特にしていない。予算は1講座あたり19,000円～20,000円強である。ほとんどが講師謝礼にあてられている。

D委員

施設予約が「公共予約システム」に移行したことで、端末操作に慣れていない市民にとっては予約がスムーズにできず、それが利用率低下に影響しているのではないか。

若林館長

とりわけ高齢者から端末の操作方法を質問されることが多い。システムのノウハウが幅広い年代層に行き届いていない現状がある。

E委員

施設有料化実施前後では利用率はどのくらい変化したのか。

若林館長

利用率は有料化実施前が62%だったが、実施後に37%に減少した。

E委員

若年層の利用者を標的にして公民館のロビーを開放するなどの動きもあったようだが、今後、開放するのか。

若林館長

若年層の公民館利用率が低い。子育てをしている世代で、自主的に育児のための勉強会を開くなどの活動をしている方も多いので、できるだけスペースを開放していきたいと思う。

F委員

公民館施設の経年老朽化が言われて久しいが、具体的にどのような影響が出ているのか。

若林館長

空調設備がうまく機能しなくなっている。また、陶芸窯が老朽化しており、使用上支障が出ている。しかし、財政が厳しく、修繕の為の予算組みができていないのが現状である。

議長

公民館利用者の要望を聞く機会はあるのか。今後のビジョンに関する利用者の声はあるのか。また、行政側でも今後の計画は立てているのか。

若林館長

7月に利用団体向けにアンケートを実施し、利用団体の87%より回答を得た。市としても、利用者の要望に答えるべく、公民館を市民から愛されるものにしたいが、そのためには設備等を見直さなくてはならない。長期計画の中で協議していきたい。

議長

市民の活動が多様化し、更に民間企業・団体が経営するカルチャーセンターが普及し、公民館での文化活動が減っている。この状況も踏まえて今後、協議していただきたいと思う。

副議長

サンパルネにもコンベンションホール等の施設があるが、公民館施設と重複していないだろうか。それが公民館の利用率低下に影響しているということはないか。

若林館長

サンパルネは飲食可能施設であり、公民館施設とは用途が異なる。したがって、公民館の利用率低下には特に影響していないと考えている。

副議長

公民館は、営利を目的とした事業の禁止など社会教育法に拠る制約が多いため、柔軟な活用ができていないのではないか。

若林館長

都内では、公民館内で様々なイベントを行っている自治体もある。しかし、本市のように鉄筋作りの公民館が5館も設置されている自治体は、都内では稀である。本市には公民館が多いことから、社会教育法に拠らない柔軟な活用をするには慎重な議論を要すると思う。

G委員

本来の公民館の姿は市民向けの講座を開くことなのか。

若林館長

市民の社会教育活動、文化活動を手助けするのが公民館の役割である。その一環として講座を開いている。

## ふるさと歴史館の現状と課題について

ふるさと歴史館長 野口 好文

ふるさと歴史館（以下「歴史館」）の概要

- ・平成8年開館
- ・職員15名（正職員7名・嘱託および再任用職員8名）4係
- ・博物館法に基づいて設立。よって学芸員設置義務があり、職員15名中、12名が学芸員。考古、近世、民俗、史料の4分野に専門が分かれている。
- ・特別展示室、常設展示室、体験学習室が設けられている。特別展示室では年3、4回、学芸員の各専門分野に関わる企画展示を実施している。現在、「全生園の100年と東村山」というテーマで特別展示を実施している。
- ・現状として、各分野の枠を超えた企画ができていない。今後の課題である。
- ・年2、3回、学芸員による「あなたの街の東村山学」講座を実施（東村山駐車場の歴史などをテーマにしている）。
- ・入場者数は年間で約26,000人。

八国山たいけんの里（以下「たいけんの里」）の概要

- ・平成21年5月2日開館。都市公園補助金から都市公園の教養施設の「体験学習施設」機能と文化庁補助金から「埋蔵文化財センター」としての

機能を有することが施設の条件として建設したもの。

- ・職員3名。(係長1名、係員1名、嘱託職員1名)
- ・歴史館で行われている体験学習が、主に藁、繭玉、かすりを材料にした大人向けの学習であるのに対し、たいけんの里では折り紙、押し花など、子どもでも気軽にできる体験学習を中心に実施している。
- ・入場者数は、開館より平成21年9月現在までで2万人超。
- ・歴史館と同様、水曜日～日曜日および祝日に開館し、月・火曜日を休館日としている(休館日に職員は不在)。昨年よりも光熱費が減った。休館日を週2日にすることで、行政サービス低下につながることを懸念されたが、土・日曜日および祝日に来館する人が多いため、現在のところ利用者減にはつながっていないと認識している。

A 委員

たいけんの里に行くとき縄文時代についてどのようにして窺い知ることができるのか。

野口館長

展示ブースと体験エリアが館内に設置されている。縄文時代の解説は学芸員が展示ブースで行っている。

B 委員

下宅部遺跡はっけんのもりを育てる会と行政がどのようにかかわっているのか。

野口館長

本会は、はっけんのもりの除草、縄文土器作りの再現、縄文時代の食事の再現などを手がけ、広場の活用と整備を行っているボランティア組織である。事業は、市が主催し、ボランティアの養成やイベントの補助を行っている。

C 委員

市外から歴史館やたいけんの里を訪れる人はいるのか。

野口館長

情報紙などを見て来館する人が多い。特に菖蒲祭りなどのイベントが開かれると、通常より来館者が多くなる。しかしながら、全体として、正福寺方面に人が流れてしまう傾向がある。

C 委員

民間と協働して歴史館やたいけんの里をPRできないか。

野口館長

商工会や市内に駅を置く鉄道会社に依頼し、それぞれが作成しているイラストマップ等に掲載して頂いている。しかし、行政独自のPR不足が否めないため、今後努力していきたい。特にリピーターを増やせるよう努力していきたい。

D 委員

市内の学校とはどのように関わっているのか。

野口館長

館の職員が学校に出向き、出前授業を行っている。児童に見学に来てもらうこともある。基本的には、児童が来るのを待っているのではなく、館の職員が出向いて知識を広めていくことが重要であると考えている。今後も学校との連携を密にしていきたい。

議長

歴史館には学芸員が多く配置されているが、一方の公民館では人員不足の状況である。一般行政職と専門職の違いがあるので、単純に比較できないが、この状況をどのように考えているか。

野口館長

人数的には恵まれているが、学芸員が専門分野の枠を超えてできない業務も多いため、必ずしも潤沢とは言えない部分もある。

議長

歴史の浅い北多摩の中で、わが市は遺跡や国宝建造物など歴史にまつわるものが多いといわれる。歴史を後世に伝えていくためのビジョンはあるのか。

野口館長

商店の活性化、散策ルートの整備など、歴史を盛り込んだ観光名所を作っていきたいと思う。

### 3. その他

- (1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下都市社連協）事業について  
交流大会
  - ・ 11月28日（土）午後1時～ 東久留米市中央公民館ホール本会議より森委員、土田委員が都市社連協表彰を受ける予定。また、各市委員の交流を図る。委員7名、事務局1名の合計8名が参加予定。
- (2) 報酬について
- (3) 第6回会議日程について  
第6回会議 平成22年1月18日（月）午後7時～ 教育委員会室  
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

### 4. 閉会